

令和6年度 芸術科 「美術Ⅲ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 文系 3年A～D組 選択者
教科書	美術3（光村図書）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
前期	4	●オリエンテーション	●オリエンテーション ■課題の把握	■美術Ⅲを学ぶ意義を考える ■年間の学習内容を知る。 ■参考作品を鑑賞し、学習内容を理解する。	関心・態度
	5	●油絵 (2年次油絵未完成者は、続きを制作)	■制作 ■鑑賞	■主題を追求し、表現方法を工夫しながら制作をする。 ■相互に作品を鑑賞する。 ■作者の主題、意図と表現の工夫などについて感想を描く。	制作の様子 制作中作品 完成作品
	6	●自由制作 絵画・彫塑 デザイン 等	■課題の把握と発想・構想 ■製作	■作品イメージを考えながら、主題を探す。題は校舎内外、人物(友人)、静物モデルなどから選択する。 ■主題を基に、アイデアスケッチなどにより形体、色彩、構成などを工夫して構図、構想をまとめる。 ■構想したことを基に表現の意図に応じた技法や用具を吟味して使い制作する。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品
	7				
	8				
	9				

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
後 期	10	●自由制作 絵画・彫 塑 デザイン 等 (継続)	■制作（継続）	■主題を追求し、表現方法を工夫しながら制作をする。 【継続制作】	制作の様子 制作中の作品
	11		■鑑賞	■自分の作品にタイトルを付け、作品について構想した表現意図の説明を記述する。 ■相互に作品を鑑賞し、批評し合う。 ■他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫をワークシートにまとめる。	ワークシート 完成作品
	12				
	1				

3 評価の観点

知識・技能	主題を表現するために工夫することへの理解の深さと技能の習熟が身についている。
思考・判断・表現	制作過程の中で考えを改めたり、時にはやり直しをするなどの思考・判断ができ、より高い表現をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主題を考え構想を練ることも意欲的に取り組み、創意工夫を楽しみながら懸命に努力する。

4 評価の方法

上記の3観点から総合的に評価する。 (具体的内容：提出作品、授業の取り組み、鑑賞の態度等)
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

<p>●メッセージ</p> <p>美術教育は、人間形成と創造性に大きく関わるものです。特に柔軟なものの見方、考え方は人としての幅を広げ、想像力、発想力は豊かな創造性の基盤となるものです。素直な心で表現し、主体的に関わることで豊かな情操を涵養できるよう心がけてください。</p> <p>●授業時の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業が始まる前に必要な準備を整え、制作時間を確保するようにしてください。 ・作業に適した服装を各自で考え用意してください。 ・公欠や欠席の場合は、早めに指示を受けに来てください。 ・提出物は期限を厳守してください。
--